

工 事 写 真 集

工事場所

自 年 月 日

工期

至 年 月 日

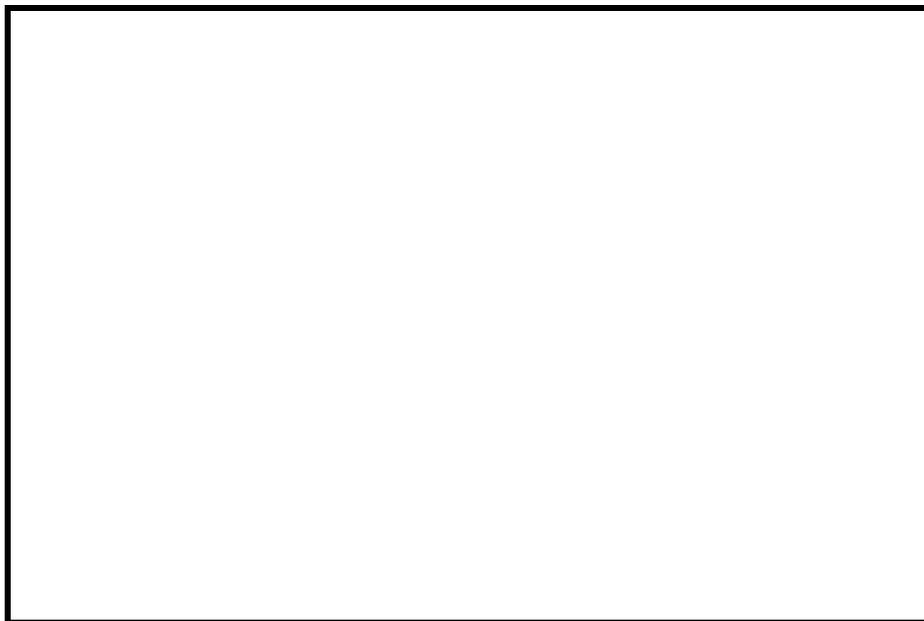
設置者
住所

氏名

請負業者
住所
氏名

浄化槽
設備士 氏名

写真(1) 着工前① (浄化槽設備士が標識版・黒板をもっているところ。)
※施工位置及び全景が把握できること。

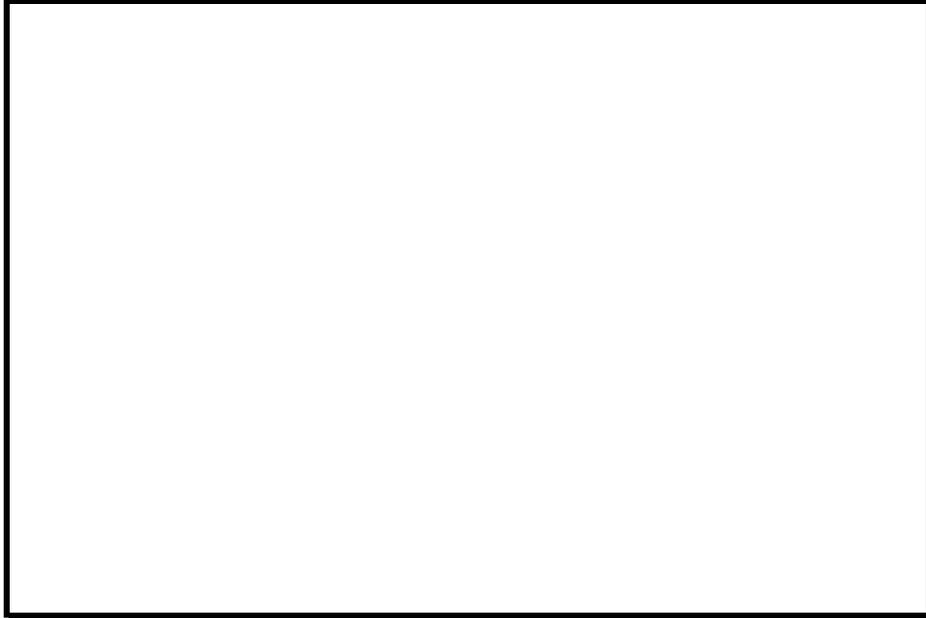


写真(2) 着工前② (浄化槽設備士が標識版・黒板をもっているところ。)
※標識板・黒板の拡大写真



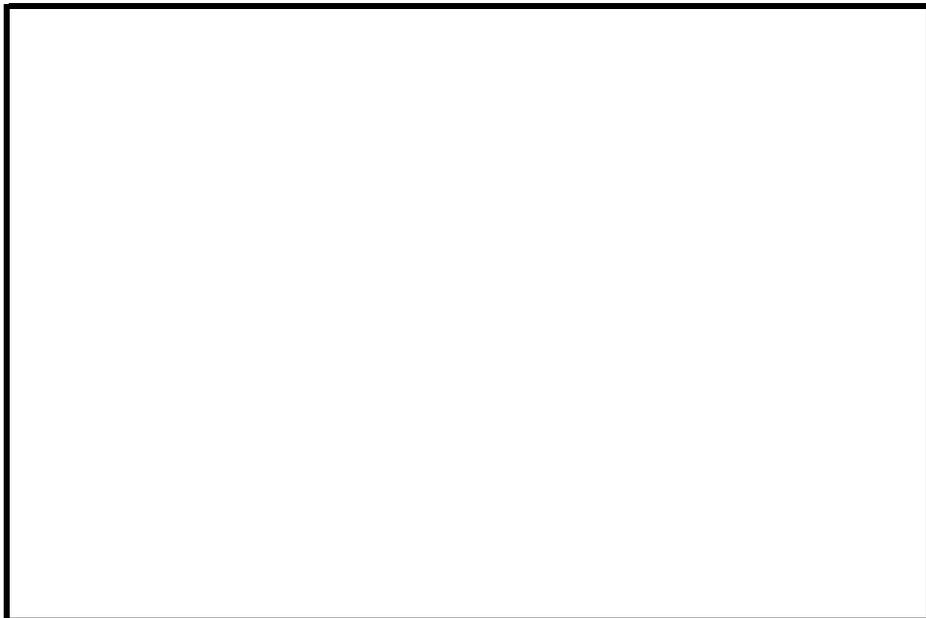
写真(3) 掘削完了写真①

- ※幅・長さ・深さがスタッフ等で確認できるもの
- ※黒板も一緒に撮影すること

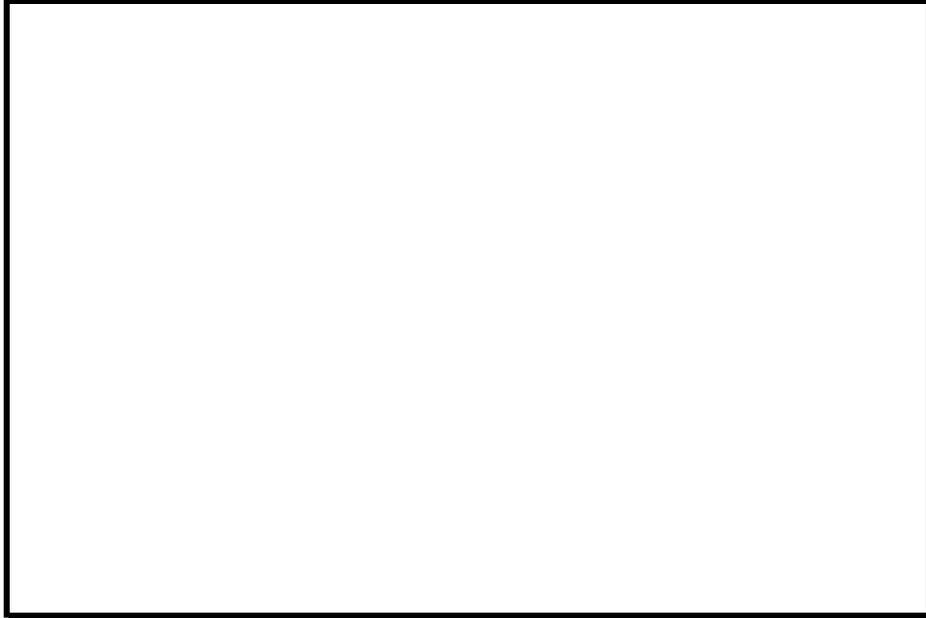


写真(4) 掘削完了写真②

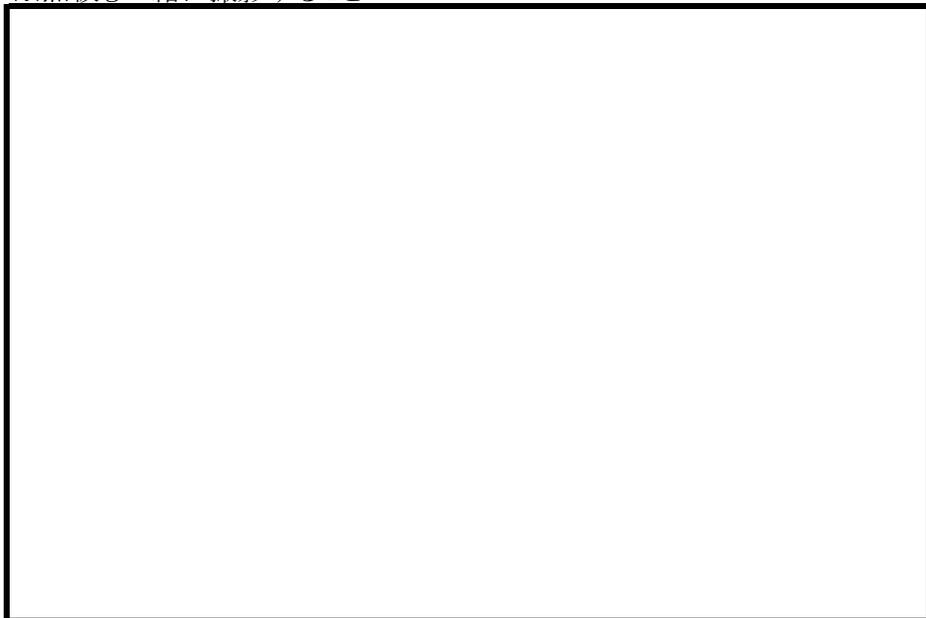
- ※幅・長さ・深さがスタッフ等で確認できるもの
- ※1枚で収まらなかった場合に使用すること。



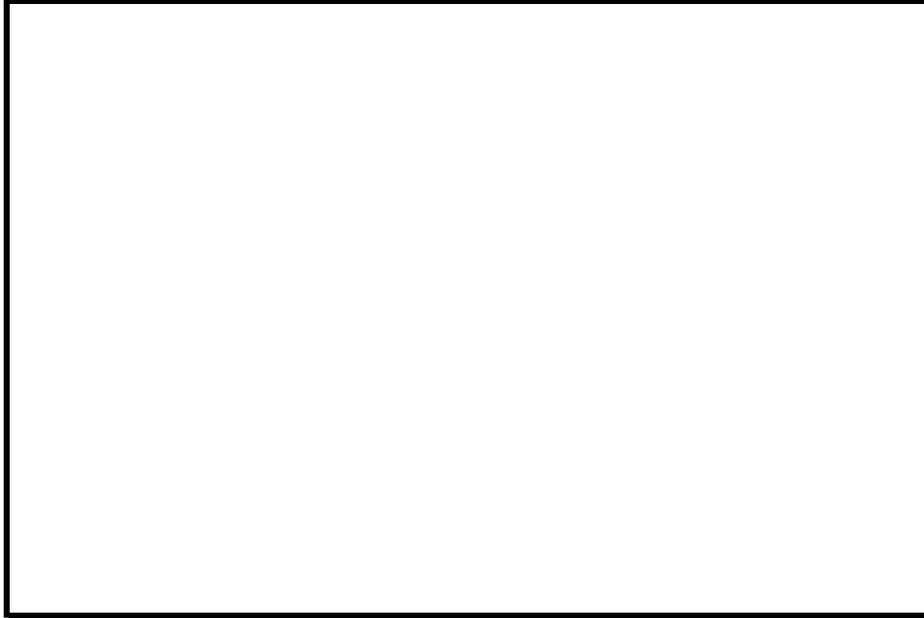
写真(5) 機械転圧状況(切り込み砂利または切り込み砕石)
※黒板も一緒に撮影すること



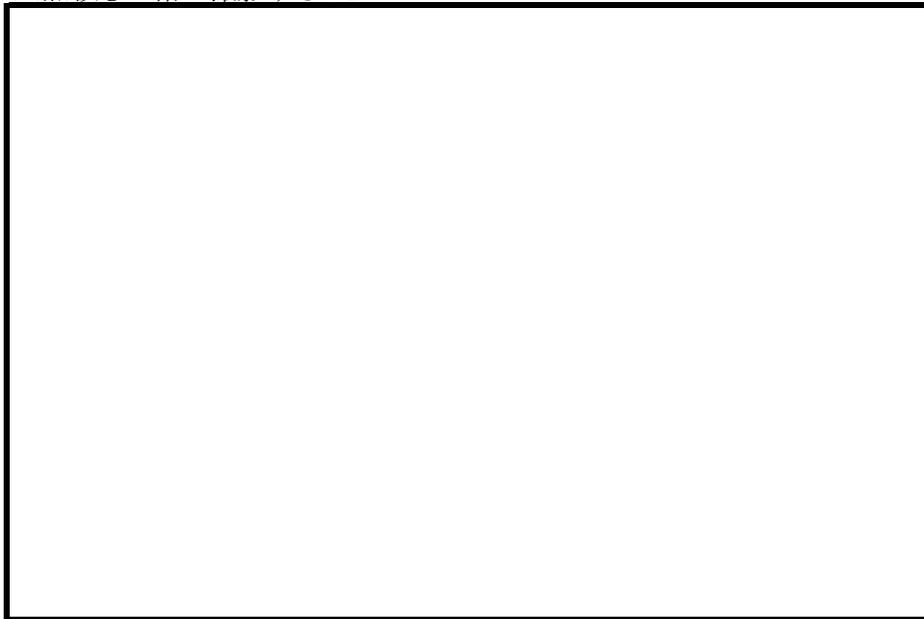
写真(6) 基礎工(捨てコンクリート、切り込み砂利または切り込み砕石)
※基礎厚150mm以上が確認できるもの
※厚さが判別出来るようにスケールをあてること。
※黒板も一緒に撮影すること



写真(7) 底版スラブ配筋状況 (ピッチ200mm以上がわかるようスケールを入れること。)
※配筋(D-13)は、シングル筋(駐車場仕様の場合、ダブル筋)が確認できるもの
※型枠設置後、全敷地が確認できるもの(黒板も一緒に撮影すること)
※スペーサー設置が確認できるもの



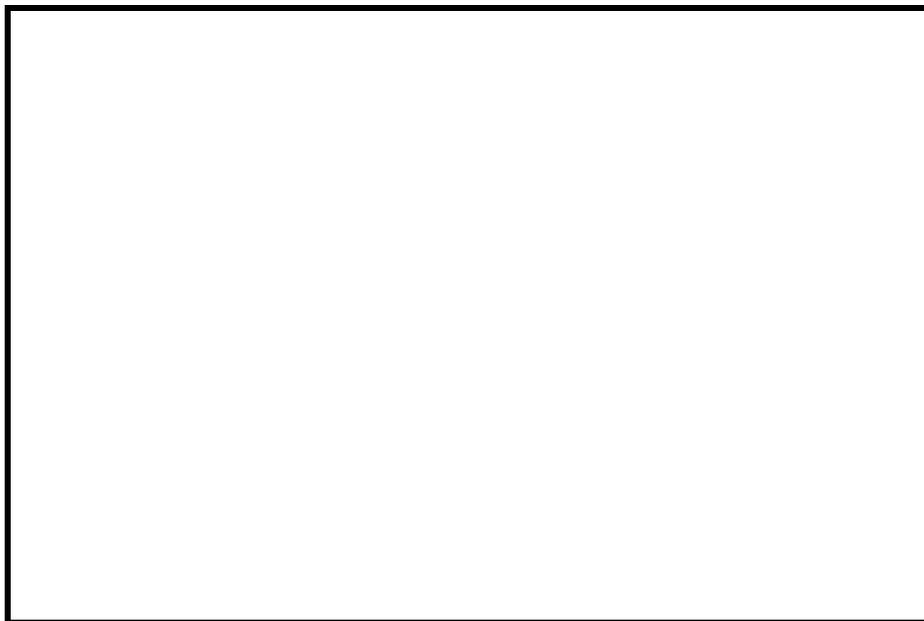
写真(8) 底版スラブコンクリート打設 (深さがわかるようスケールを入れること。)
※基礎コンクリート厚150mm以上(駐車場仕様の場合、200mm以上)が確認できるもの
※コンクリート打設中であること
※黒板も一緒に撮影すること



写真(9) 底版スラブコンクリート養生後の寸法①

※幅、長さ、深さが確認できるもの

※黒板も一緒に撮影すること



写真(10)底版スラブコンクリート養生後の寸法②

※幅・長さ・深さが確認できるもの

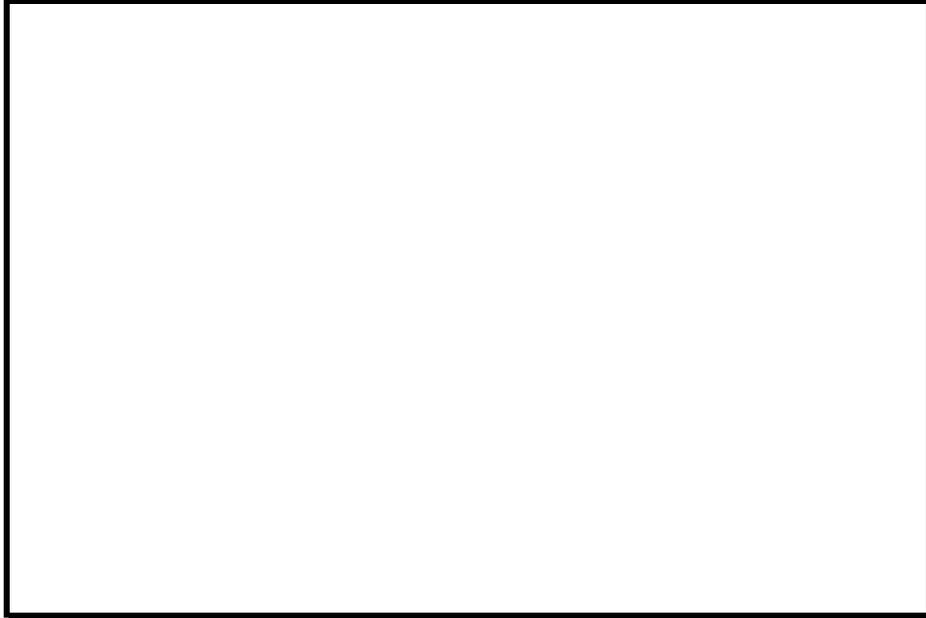
※1枚で収まらなかった場合に使用すること。



写真(11) 浄化槽本体

※浄化槽の型式が確認でき搬入車が機械吊りしているもの
(もしくは浄化槽の型式と現場搬入が確認できるもの)

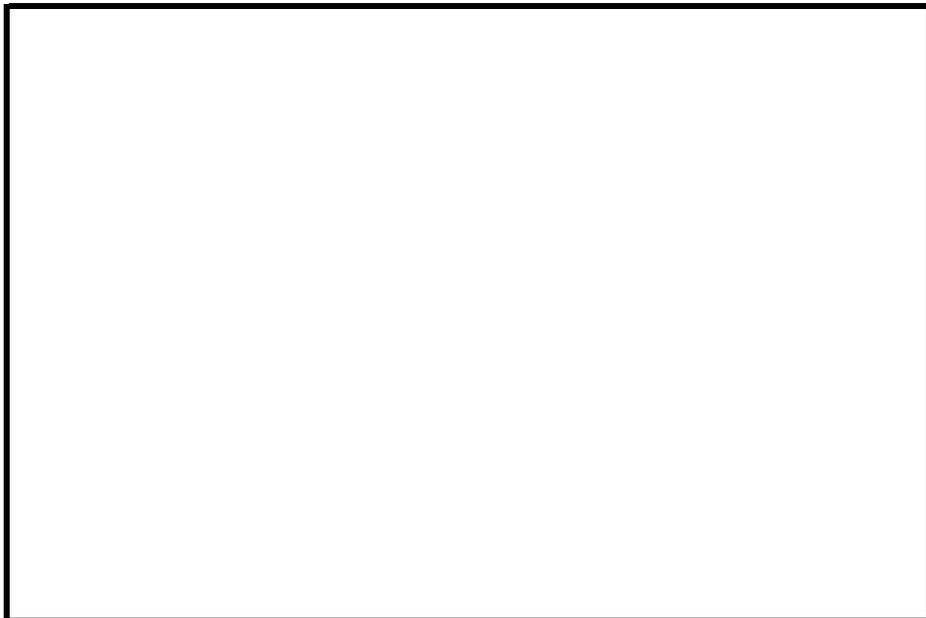
※黒板も一緒に撮影すること



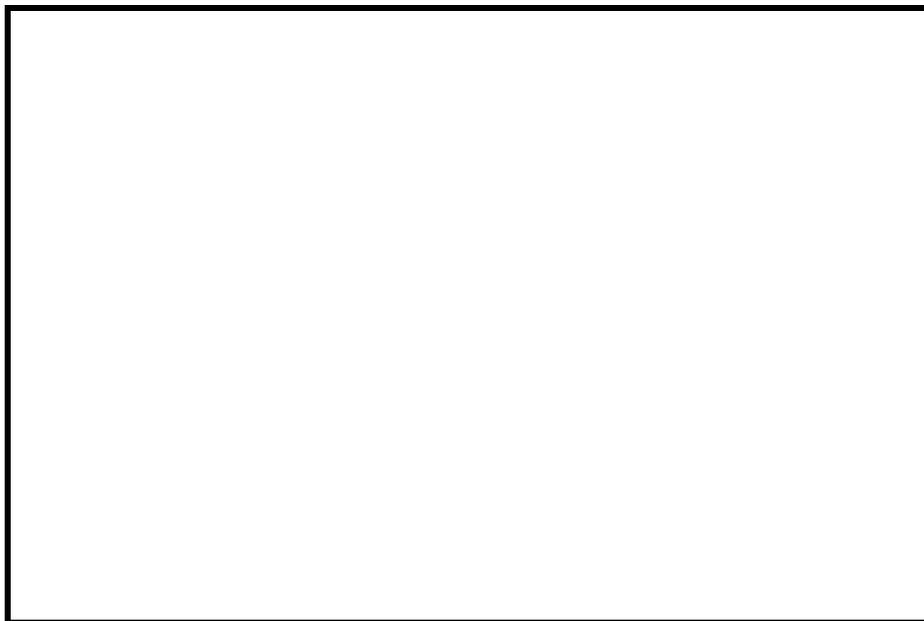
写真(12) 据付①

※浄化槽設備士が水張り水平を確認しているところ

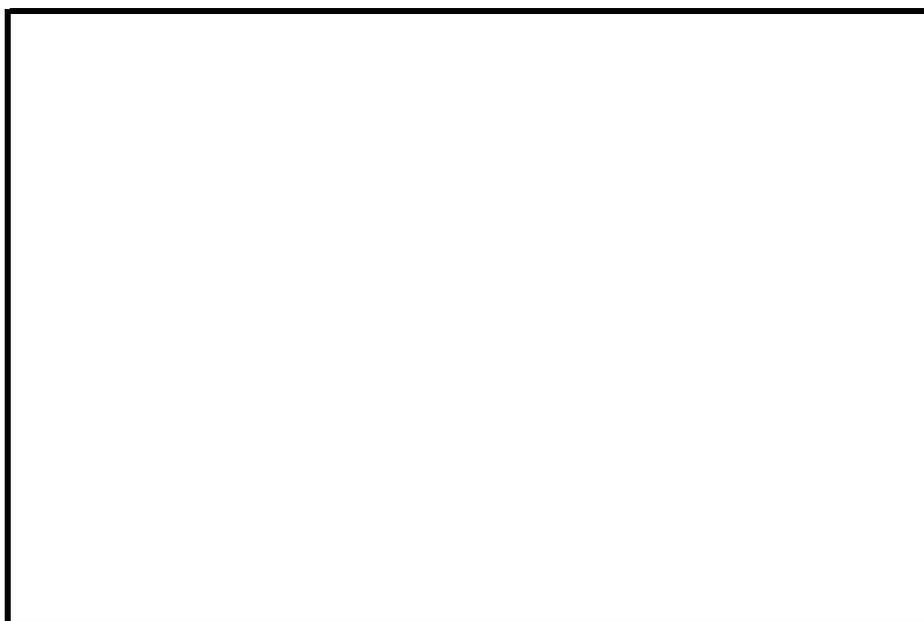
※黒板も一緒に撮影すること



写真(13) 据付②
※水平計の拡大写真



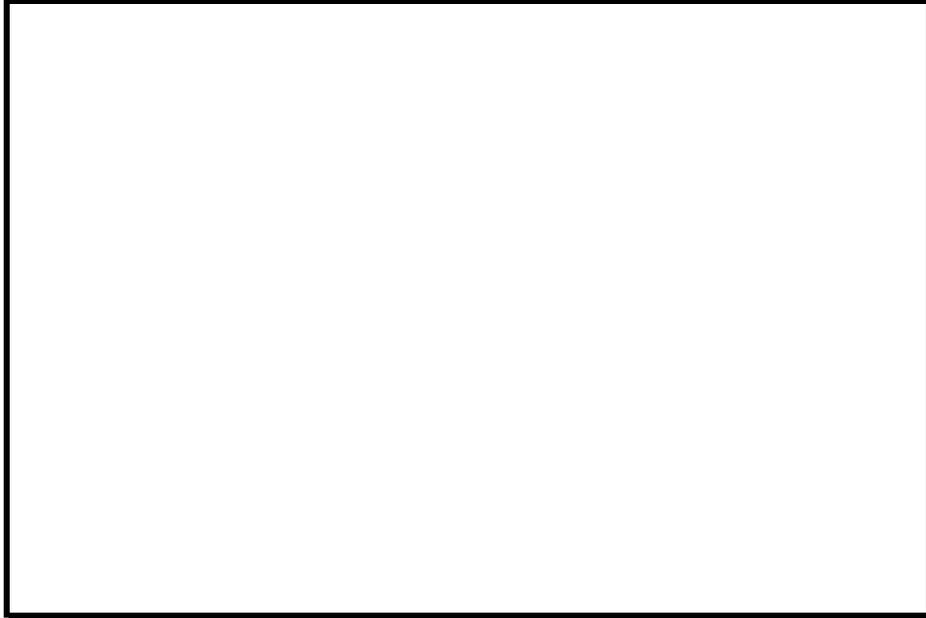
写真(14) 埋戻し・中段
※埋戻し材料が確認でき突固め及び水締めをしていること
※黒板も一緒に撮影すること



写真(15) 埋戻し完了

※埋設の状況が全景的に把握できるもの

※黒板も一緒に撮影すること

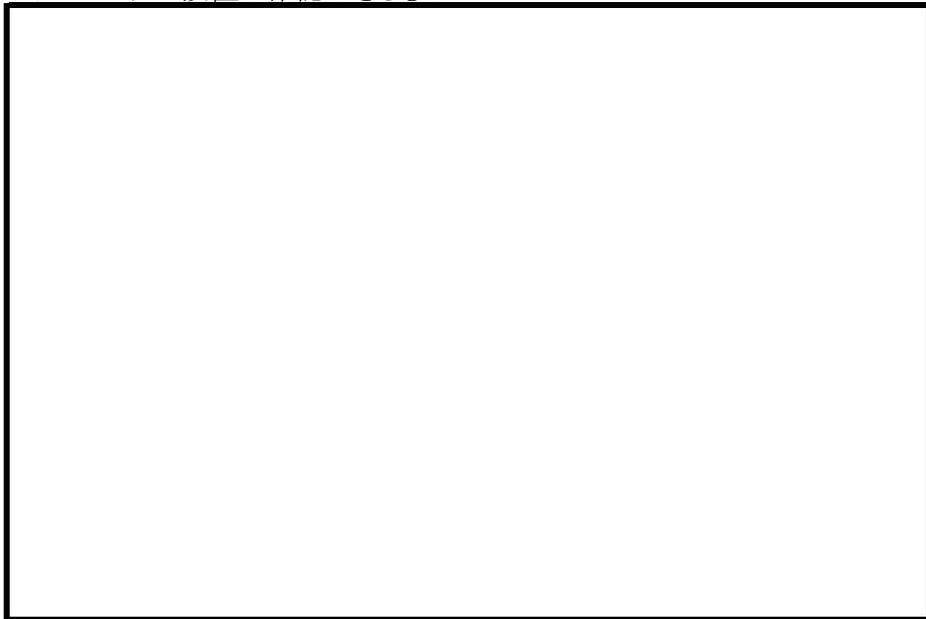


写真(16) 上版スラブ配筋状況 (ピッチ200mm以上がわかるようスケールを入れること。)

※配筋(D-13)は、シングル筋(駐車場仕様の場合、ダブル筋)が確認できるもの

※型枠設置後、全敷地が確認できるもの(黒板も一緒に撮影すること)

※スペーサー設置が確認できるもの

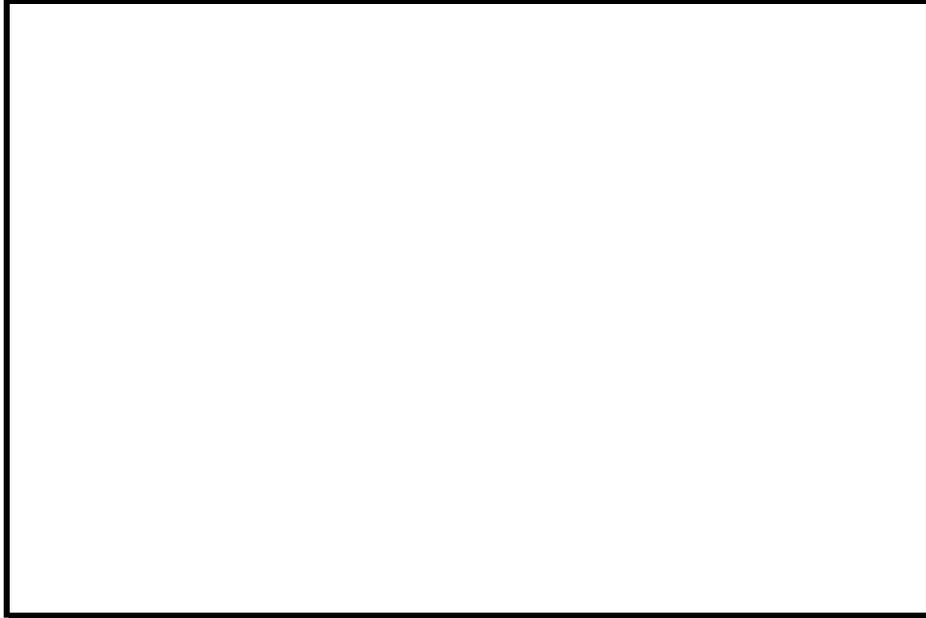


写真(17) 上版スラブコンクリート打設

※底版スラブコンクリート厚に準じること

※コンクリート打設中であること

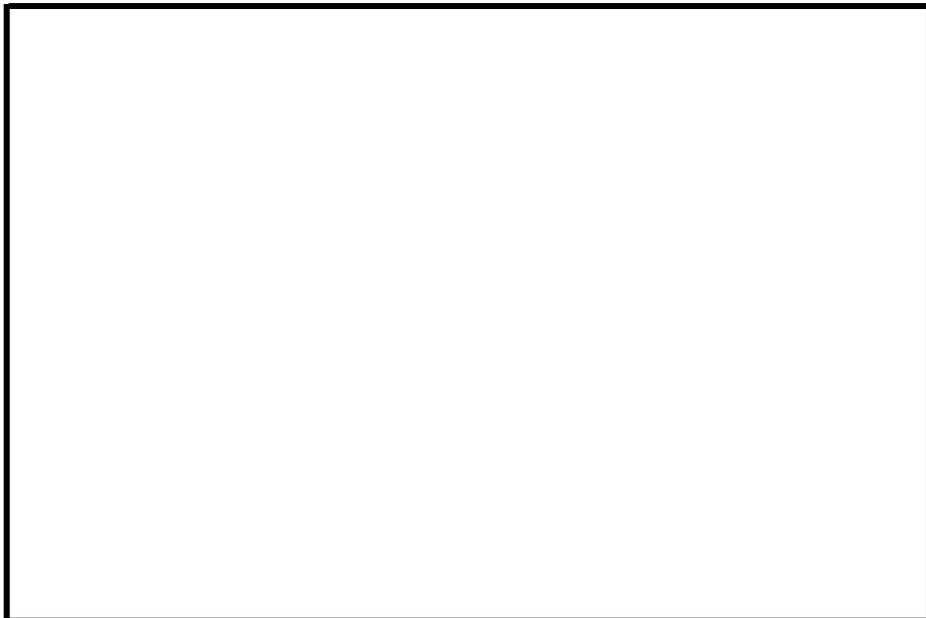
※黒板も一緒に撮影すること



写真(18)上版スラブコンクリート養生後の寸法①

※幅・長さ・深さが確認できるもの

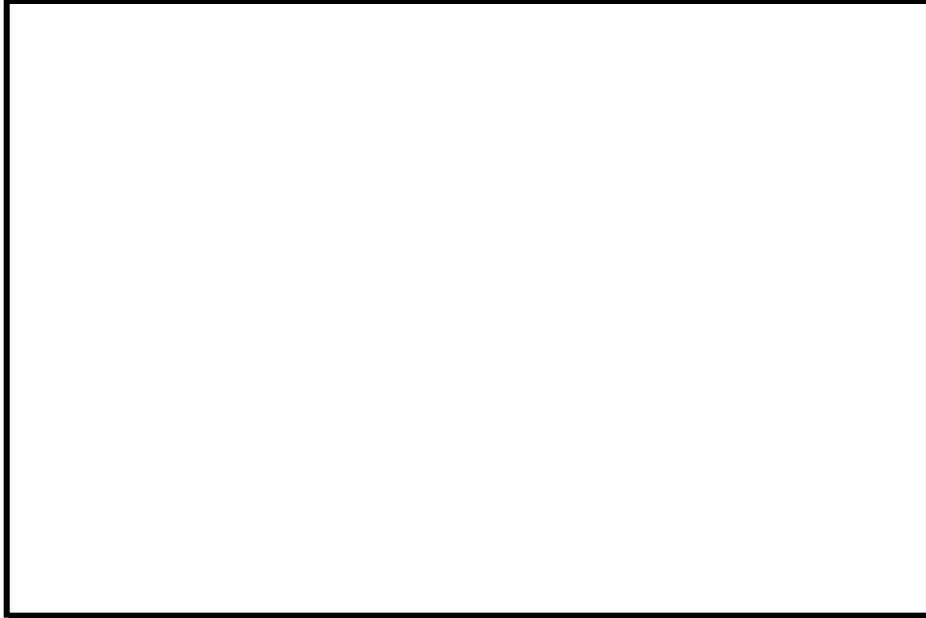
※黒板も一緒に撮影すること



写真(19)上版スラブコンクリート養生後の寸法②

※幅・長さ・深さが確認できるもの

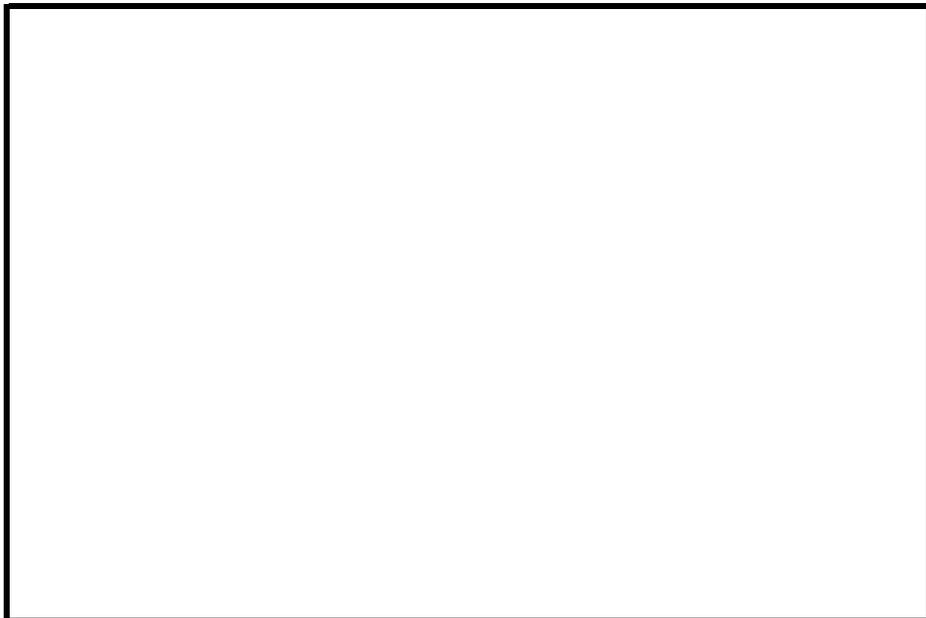
※1枚で収まらなかった場合に使用すること。



写真(20) 嵩上げ状況（嵩上げ高さは、300mmを上限）

※マンホールの内側にスケールを入れること

※黒板も一緒に撮影すること

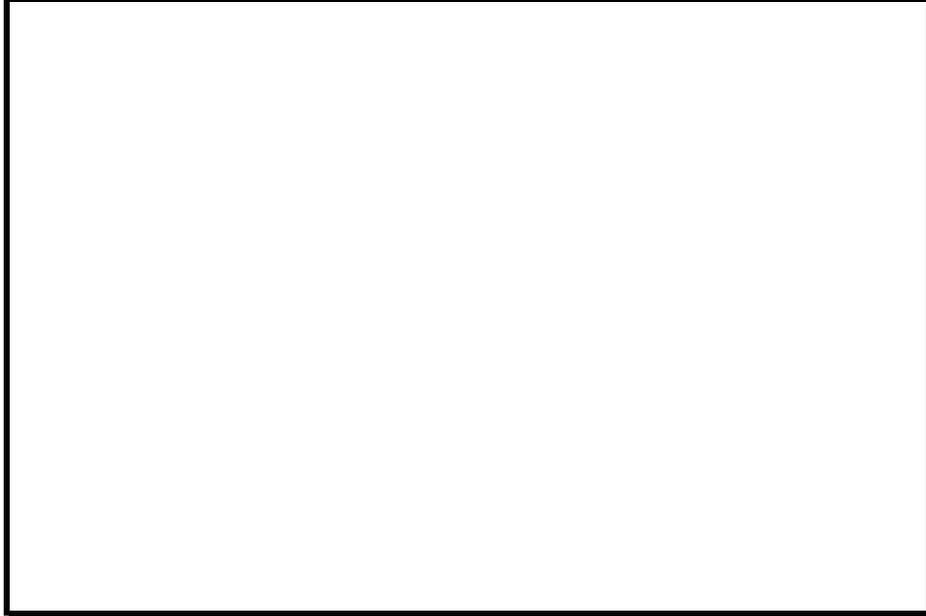


写真(21) ブロワ設置状況（ブラワ基礎は、地盤より100mm以上高く設置）

※設置工事(アース)が確認できること

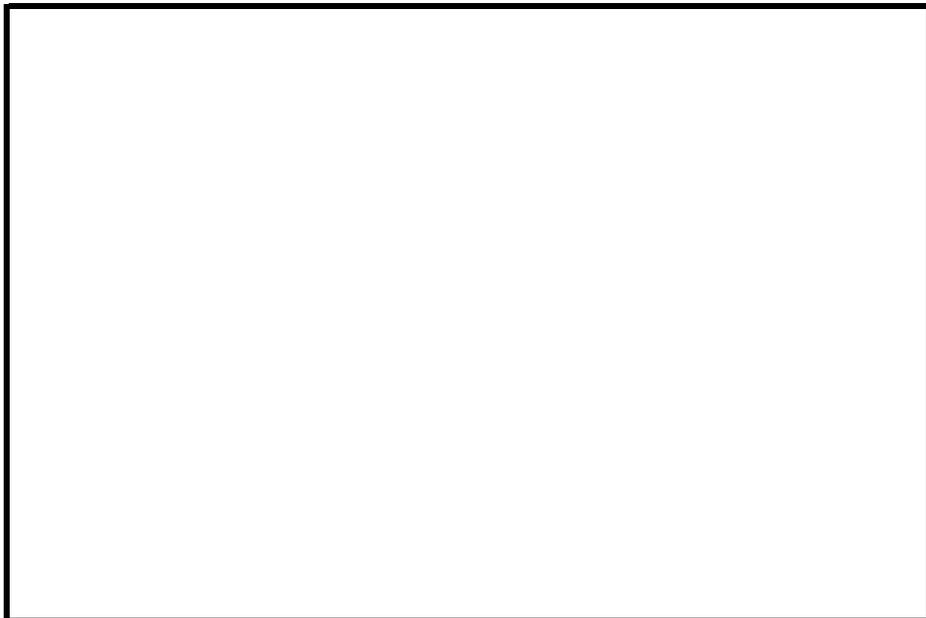
※ブロワ基礎にスケールを入れること

※黒板も一緒に撮影すること



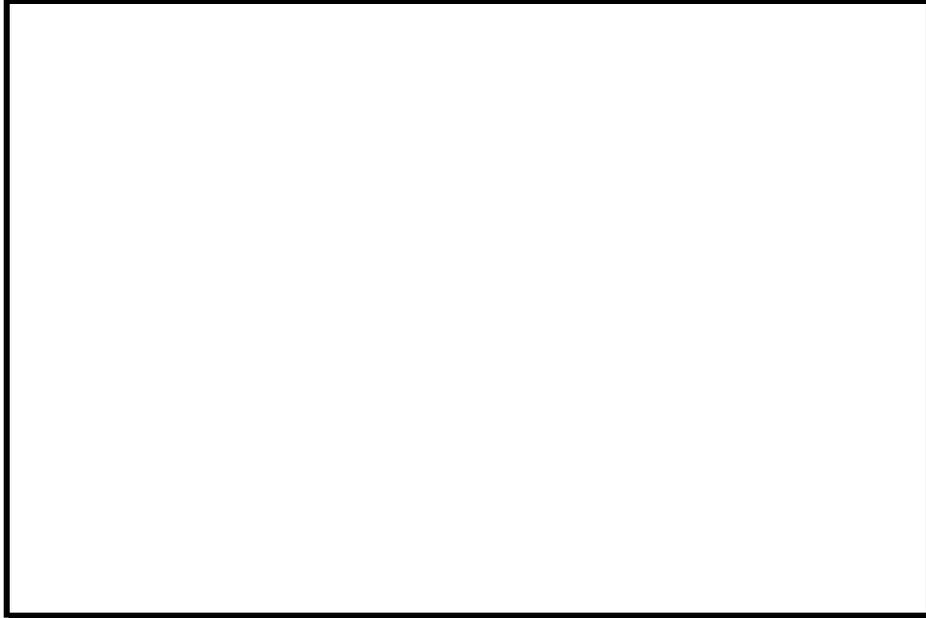
写真(22) 竣工写真（浄化槽設備士が標識版・黒板をもっているところ。）

※浄化槽設置完了が明確なこと



写真(23) 放流先の状況

※放流先が側溝の場合は、側溝底から放流管底までスケールを入れること
※側溝底から放流管底までは、100mm以上が望ましい。



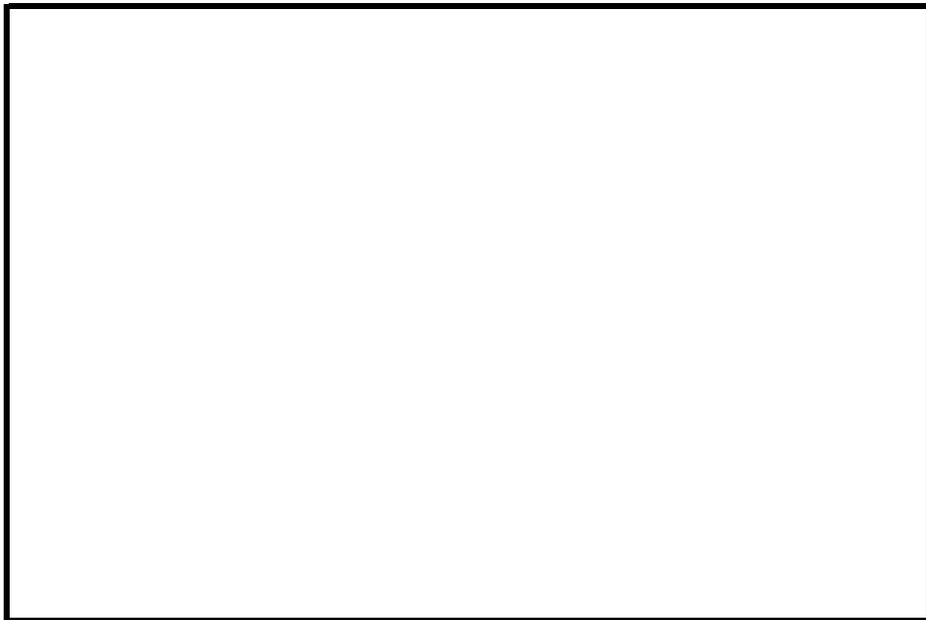
写真() 指摘事項
()



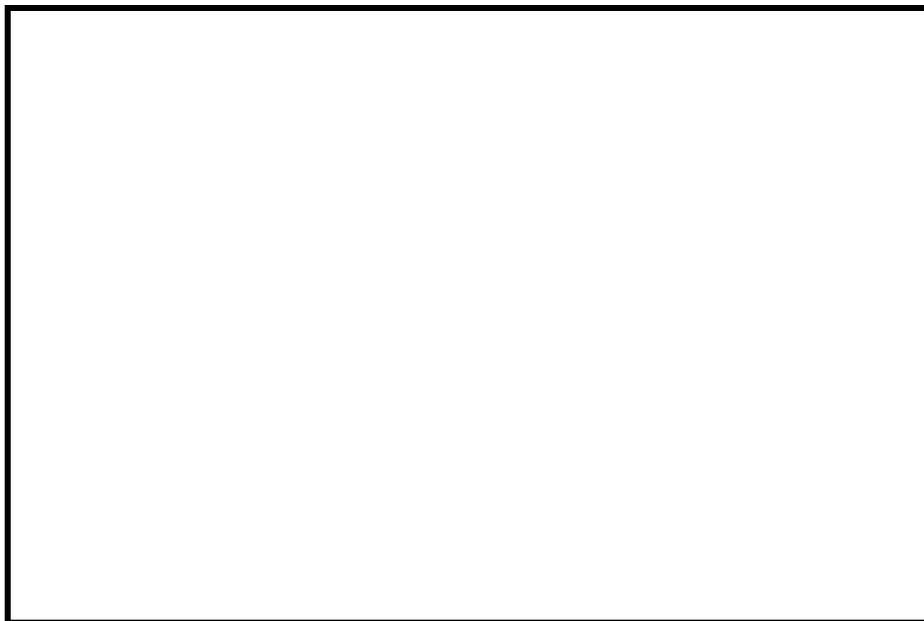
写真() 支柱の本数が確認できること (D-13×4本)
※配筋全景が確認できるもの
※柱筋全本数(フープ筋含む)が確認でき、支柱枠がない状況のもの



写真() 支柱フープ筋 (D-10)
※アンカー長さが確認できるもの
※ピッチ150mmがわかるようスケールを入れること



写真() 木杭打込状況
※黒板も一緒に撮影すること



写真() 木杭打込完了
※ピッチが確認できること
※黒板も一緒に撮影すること



写真()放流ポンプ設置状況
※黒板も一緒に撮影すること



写真()放流ポンプ設置完了
※黒板も一緒に撮影すること

